

2023年度(令和5年度) 学校評価自己評価表

城西中学校区	校番 58	福山市立山手小学校
最終更新日		2023年(令和5年)4月1日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる
ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型スキル&倫理観)	コミュニケーション力・表現力・忍耐力
○学習に対する取組は、各校とも一定の成果が出ており、小中ともに児童生徒が意欲的に学びに取り組んでいる様子が分かる ○コロナ禍でできなかった様々な活動や行事ができるようになり、子どもたちが生き生きと楽しく学校生活を送っていると感じられる ●デジタル機器の活用は必要だが、それにより家族等との会話が少なくなることが心配だ ●読書活動など、各校のよいところをお互いに取り入れていくことが大切である	○「子ども主体の学び」の実現に向け、校区で研究・実践を継続し、授業改善が進んでいる ○行事等を通して小中の連携が図られ、意欲的に頑張る児童生徒の姿が多く見られる ○コロナの状況も落ち着き、学校行事を中心にあらゆる活動に主体的に取り組み、自分たちが学びを創り上げると意識が高まった ●コロナ禍の影響もあり、長期欠席者が多い状況がある。引き続き、小中が緊密に連携し、丁寧な取組を行っていく必要がある	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	地域に愛着と誇りをもち、心豊かにたくましく生きる子ども
		中学校区として統一した取組等	○自己肯定感を高める（小中合同ボランティア活動・中学校オープンスクール） ○コミュニケーション力・表現力・忍耐力をつける（校区公開授業研究） ○健康への意識を高め、体力向上を図る （体力向上の取組・体力テストの分析・生活改善の取組・校区保健だよりの発行）

III 自 校

ミッション						育成する力 (21世紀型スキル&倫理観)		コミュニケーション力 ・ 表現力 ・ 忍耐力			
『元気』と『笑顔』あふれる やまて						めざす子ども像		全学年		○児童が、自分自身を理解するとともに、お互いを認め合い、高め合っている ○児童が、自ら疑問や課題を見つけ、解決に向け自分や仲間と意欲的に調べたり考えたりして、学び続けている ○児童が、自分たちの生活をよりよくしていくために、積極的に考え、取組を企画し、仲間と協力しながら、粘り強く取り組んでいる ○児童が、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加し、地域の人たちと協力して、地域を笑顔にしている	
学校教育目標											
自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成											
現 状											
児童が主体的に進め、「学び」を広めたり、深めたりしていくために、児童が「夢中になる授業」づくりに取り組んできた。その取組を振り返り、改善していくための指標とするために、「学び」に関するアンケートを全児童対象に実施した （肯定的評価）											
授業中に「なるほど」と思ったことをメモしていますか											
1学期		74.6%		2学期		74.1%		3学期		84.9%	
授業の最後に分かったことや、もっと知りたいことを振り返りで書いていますか											
1学期		79.6%		2学期		84.4%		3学期		90.2%	
授業で考えることがおもしろい											
1学期		89.8%		2学期		85.1%		3学期		87.5%	
<授業づくり> 「めざす授業の姿」に至っているとは言い難い。また、ICTの効果的な活用についても課題が多い。引き続き、児童が「夢中になる授業」をめざして、個々の職員が教材研究を進め、組織的な授業づくり研修によって、先生たちの「学び」を充実させていく											
						テーマ				子どもたちが「夢中になる授業」をめざした、子どもたちの「学び」と先生たちの「学び」をつなぐ授業づくり	
						研究		内容等		■「学び」のつながりはあったか 〈子どもたちの「学び」〉 ○主体的に学ぼうとする姿があり、学習内容(単元・「本時」)のねらいにせまり、「学び」の面白さを味わうことができたか 〈先生たちの「学び」〉 ○そのための「教材研究」はできていたか	
						めざす授業の姿				・ 学習活動が主体的・自律的である ・ 明確な課題意識をともなった活動である ・ 目標達成、及び、課題解決への営みが持続されている活動である ・ 目標達成、及び、課題解決に役立つ情報に敏感になっている ・ 目標達成、及び、課題解決に見通しを持って取り組み、期待が持てる活動である ・ 活動の経過とともに、はっきりと成果物などの変化がある	

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立山手小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	加え 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	加え 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
4	主体的・対 話的で深い学びによる学習意欲と学力の向上	★	継続	自身の「伸び」を実感できる児童の育成	◇導入の工夫と振り返りの充実を行う ◇読書意欲を高める活動の工夫を行う ◇教育相談を充実させ、少人数指導やスモールステップによるドリル学習を設定して、学習意欲を高める	■自己肯定感に係る質問に肯定的な回答をした児童の割合を前年度以上にする ■学力を伸ばした児童の割合を前年度以上にする ■学力調査正答率40%未満の児童の割合を前年度以下にする									
2	自己指導能力の育成		継続	よりよい学校生活にしている児童の育成	◇児童会を中心としたキャンペーン等を行い、児童全員が楽しめる取組を行う ◇相互評価、他者評価場面を日常的に仕組み、よいところや個性を理解して、互いを認め合える集団づくりを進める	■「学校が楽しい」という児童の割合を前年度以上にする ■児童会目標を達成しようとしている児童の割合を95%以上にする ■「自分にはよいところがある」「友達や家族や先生に『ありがとう』と言われたことがある」について、肯定的回答をする児童の割合を前年度以上にする									

[illegible]

【プロセス評価の評価基準】		【達成評価の評価基準】		【総合評価の評価基準】		
評価点	評価基準	評価点	評価基準	評価点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。